

アーティスティックスイミング

白土 まほ(高1)・政井 優花(中3)
19位 130.6581
(テクニカル63.9914 フリー66.6667)



オープンウォーター

寺田 拓末(大3)
12位 男子5k 1:00:37.1
高山 理乃(高2)
26位 女子5k 1:09:12.7

【追記】

杉原千畝(すぎはらちうね)をご存じでしょうか? リトアニアという国で外交官をしていた彼は、ナチス・ドイツから迫害を受けていたユダヤ人にビザを発行し助けた人物です。日本のシンドラーとも言われ、六千人の命のビザというドラマにもなりました。

実はそのビザを持ったユダヤ人難民が日本へ入国したのがこの敦賀の港だったのです。最終日のレース終了後、ミーティングまで時間がとれたので会長、理事長と共に港へ向かいました。赤煉瓦倉庫を見学に行ったのですが、その向こうに気になる建物があり、行ってみると「人道の港敦賀ムゼウム」と書いてありました。そこで見たビデオに涙してしまいました。命からがら逃げてきたユダヤ人にとって船から見えた敦賀の地が「ヘブロン(天国)」に見えました。」と語る老人の話から始まったビデオ。その人達を受け入れた敦賀の温かい人達。一つのリンゴをみ

んなで食べた話。お金のために時計などの貴金属を売った時計店の方の話。道徳の授業やドラマでも知っていただけに、生き延びた人達の声は本当に胸が熱くなり涙が止まらなくなっていました。

長い長い道の果てにしあわせの福井が本当にあったのです。

今回は、トレーナー国分先生に加え、シャペロンとして佐藤先生が帯同してくださいました。栄養面でのご指導ありがとうございました。また、応援で郡山の名木さん、星さん、関根さんが足を運んでくださいました。遠くまでありがとうございました。

文・写真 金澤昭恵



福井名物「へしこ」パワーで応援

重ねた努力 流した汗 光り輝け 中国の地で

中学校委員会 金澤昭恵

『晴れの国 おかやま』にふさわしく青空の広がる暑い夏8月17日〜19日の3日間、2018年全国中学校水泳競技大会が岡山県倉敷市で行われました。会場スタンドから、紺碧の海を渡る船が見える絶景のロケーションの中、県勢10名の選手達が大会に臨みました。

初日、富田中・野矢君が50m自由形で決勝進出を決め、幸先の良い滑り出し。同じ富田中の4×100mフリーリレーもみんなでレースを楽しみむかのように伸び伸びと泳いでいるのが印象的でした。

2日目は野矢君の決勝。もしかしたら…の願いは叶いませんでしたが、見事2位入賞でした。最終日は個人戦出場場の5名全員のレースがあり、朝から忙しくそして嬉しく観戦でした。初出場とは思えないほど果敢に攻めるレースで、自己ベストを更新するなど生き生きと泳いでいました。

100m自由形では、前日に続いた決勝を期待した野矢君は残念ながら決勝を逃してしまいました。泉中の和知さんが8位で決勝へ。本人があまり得意としていないスタートから飛び出し、50m折り返しではトップ通過、T.Vのアナウンサーから「和知です!和知です!」と連呼されるほどでした。惜しくも4位でしたが、次につながるレース経験になったのではないのでしょうか。

今年倉敷市は大雨での災害に見舞われました。大変な地区もあり準備にもご苦労されたはずですが、役員のみなさまはとてまあたたく親切でした。3日間ありがとうございました。



期待！

各委員長に来年に向け伺ってみました

冬のトレーニングの成果有り

飛込委員長 小野寺光喜



全中岡山に山本選手出場

9月23日(日・祝)に行われた「日本選手権飛込競技」で今シーズンの競技会が終了しました。
今年度は、今まで以上に「期待」がもたれた大会が目白押しでした。
7月4日(水) 県中高体連大会を皮切りに、全国中学大会に3名が出場資格を獲得、高体連東北大会には、男女各1名が出場しました。JOCジュニアオリンピックカップ東北予選会では、5名が全国JOC夏季(大阪)大会への切符を手にしました。
このような素晴らしい結果につながったのは、冬の練習によるものだったと思います。合宿も一つの要因ですが、陸上ト



酷暑をものともせず…競技役員魂！

レーニングの大切さやトレーニング等の器具を使つてのメニューには、東北の冬を乗り越えるだけの力がありました。米沢のトレーニング室をお借りしたり、グランデ21の施設を使わせていただいたりと東北各県のコーチにアドバイスをもらいました。各コーチの励ましのことばに耳を傾け、実践した一つ一つの練習が選手「演技」に結びついたと考えます。そして、今後の成長に期待したいと思います。
また、今年度の日本選手権では、1m飛板飛込で西川選手が第3位と活躍し、シーズンを締めくくることができました。お世話になった関係者の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

国民体育大会水泳競技(アーツティックスイミング)



たった3分。されど3分。楽しめたかな

今がチャンス 男子も女子もやってみよう

アーティスティックスイミング委員長 矢部由布子

みなさん、「AS」って知ってますか？
今年四月、競技名が「シンクロナイズドスイミング」から「アーティスティックスイミング」に変わったことはもうご存知だと思います。けどやっぱり認知度はとっても低く、「AS」と省略してしまふとだれもわかってくれません(泣)。
ASについてあんまり知られてないことがもう一つ。男子選手の競技会参加も数年前に可能になりました。今までは小学生のみ可能でしたが、競技要項に「女子」の文字が消え、「男子ソロ」なる競技も増えたのです。今年の世界ジュニアでミックスデュエットが正式種目になり、男子選手の強化も進んでいます。



後左から作山コーチ・佐原トレーナー・矢部監督
前列左から白土まほ(高1)・政井優花(中3)

今がチャンスです！東京五輪の影響で競技の活性化が進み、強化に国がお金を出し、五輪にミックスをと声が出ている今がASを始める最大の好機です。数年後、日本の国旗を背負って泳いでいる自分の姿が想像できますね？
九月に開成山プールで行った体験会にも男の子の参加がありました。もちろん女の子もたくさん参加してくれました。
さあ、今すぐ始めましょう！皆さんがふくしまの、日本の「希望」です。